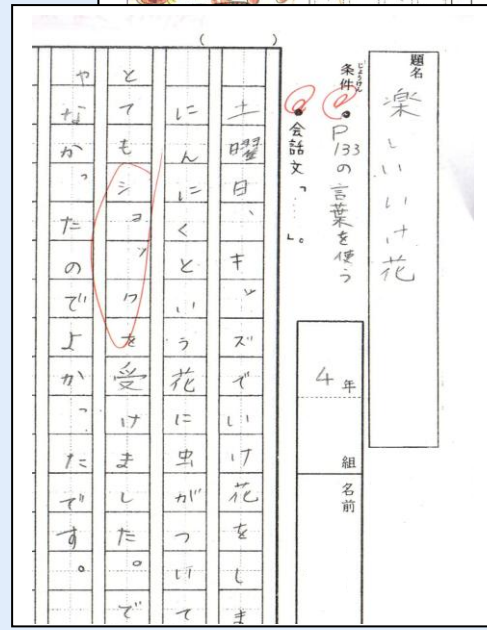
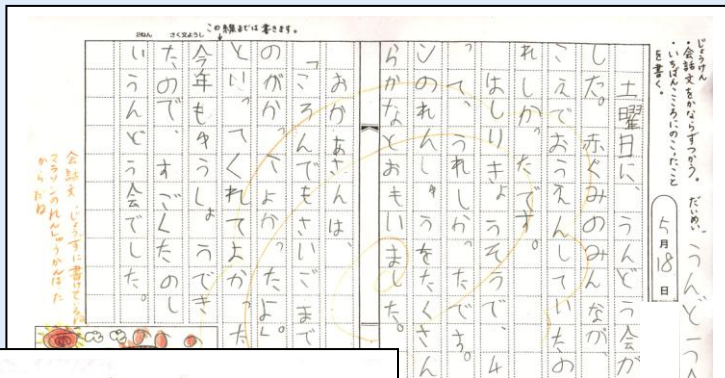


スキルタイム

	メニュー	学習内容
月	じっくり読書 読み聞かせ	月ごとのテーマ読書にあわせ、じっくりと読書をする。月に1回地域のボランティアの方の読み聞かせを聞く。
火	活用力ワーク (国語)	静寂の中、自力で、初見の長文問題に取り組む。 次の日に答えや着眼点について確かめる。
水	思考力アップ プリント (国語・算数)	家庭学習でプリントに取り組み、 スキルタイムでは考え方・解き方を説明・交流する。
木	辞書引き 短作文づくり	まずは 辞書に慣れる。辞書を活用し 、プリントや意味調べ、語彙集めをする。条件つき短作文づくりをする。
金	集会活動	全校合唱、委員会発表、クラス発表など、大勢の前で大きな声を出す場ととらえる。
特設	チャレンジ漢字・計算・言語テスト 50マス計算	・・・合格するまで挑戦。 ・・・自己ベストタイムに挑戦。

◎午前中の集中できる時間帯で、且つ、日課変更が少ない時間帯に、スキルタイムを設定。毎日確実に取り組むことができる。

2 限 9:10～9:55
スキルタイム 10:00～10:15
長休み 10:15～10:35
3 限 10:35～11:20



条件作文

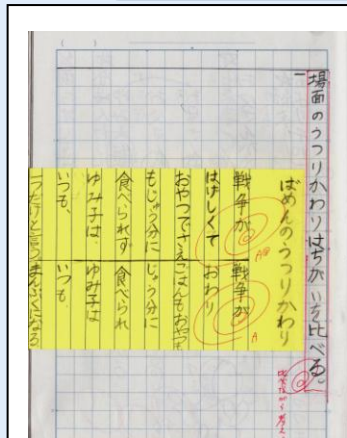
- ◎複数の条件に応じて、自分の考えを書いてまとめる力をつけるための取組。
- ◎条件にあっているかを評価し、コメントをいれる。
- ◎モデルとなる作文は廊下に掲示。全校で紹介する。

【条件例】

- ・字数を制限する（〇行以上 〇行以内）。
 - ・会話文を入れる。
 - ・語彙表の言葉を入れる。
 - ・「楽しい」「うれしい」という言葉は使わない。
 - ・〇段落構成で。
 - ・見えたものや聞こえた音を入れる。
 - ・一番〇〇なことを入れる。
- ※「複数の条件から児童自身が選ぶ」「条件に合っているかチェックする」ことも導入している。

学習の基盤をつくる

ノート指導



付箋の活用：自分の考えを付箋に書いておくと、後でまとめる時等に好きなところに置き、見ながら書くことができる。



地域人材活用：「読み聞かせの会」



授業との関連
(例) 国語：全校児童へお薦めの本を紹介→読みたい本を投票



読書を楽しく：葉プレゼント

家庭学習

高学年の きらりノート

5年生

家庭学習の手引き (5・6年生)

家庭学習の手順とポイント

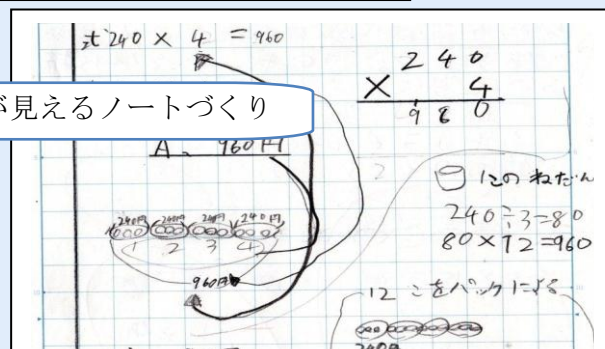
1. テレビを消します。(おやつも終わるまでがまんします)
 2. 机の上と周りをきれいにし、必要なものをそろえます。
 3. 毎日、時刻を決めましょう。(〇時△分から〇分間)
 4. 正しい姿勢でしましょう。(鉛筆の持ち方に注意)
 5. 自決は、毎日しましょう。
 6. 宿題が終わったら、自学にも取り組みましょう。
 7. 高学年の勉強時間は、60分～70分がめやすです。
- 線を引くときは、ものさしを使いましょう。

勉強のしかた

- 学習内容 例
1. 教科書を音読する。(全教科)音読後、家の人にサインをもらう。
 2. 教科書をきれいに複写する。(大事な部分にアンダーラインを引く)
 3. テストやプリントなどの勉強した問題を復習する。(できた問題は〇、まちがった問題には×をつけ、2回目×のものをやる。)
 4. 教科書の内容でもっとくわしく調べたいことについて、辞書や資料やインターネットなどで調べ、自分なりにまとめる。
- 共通
1. 漢字の学習は、漢字辞典や漢字ドリルで筆順・読み・画数・熟語を調べて書く。
 2. 「言葉の学習」で習った熟語や言い回しなどを使って短文を作る。(主語、述語、句読点を入れる。)
 3. 教科書に出てきた言葉、ことわざや四字熟語の意味を調べて書く。
 4. テーマ作文を書く。(事実や意見・感想を区別して書く。)
 5. 新聞記事をスクラップし、自分の感想や意見を書く。

学校全体で音読を大切にしている。

思考の流れが見えるノートづくり



モデルノートの掲示



読書活動

